

(公財) ミズノスポーツ振興財団 2017 (平成29) 年度事業報告

2017 (平成29) 年度事業報告は以下の通りです。

I. 国民スポーツ・生涯スポーツの普及振興に対する助成		4,400万円
1. NPO法人 アオダモ資源育成の会	(100万円)	
2. NPO法人 全国ラジオ体操連盟	(100万円)	
3. (公財) 全日本ボウリング協会	(100万円)	
4. 第73回国民体育大会	(900万円)	
(1) 本大会	(福井県) 《500万円》	
(2) スケート	(山梨県) 《100万円》	
(3) アイスホッケー	(神奈川県) 《100万円》	
(4) スキー	(新潟県) 《200万円》	
5. (公財) 日本体育協会	(2,350万円)	
(1) 国体推進協力、日本スポーツ少年団全国大会 協力及び日本体育協会情報提供	《800万円》	
(2) ブロック別総合体育大会 (ブロック国体)	《450万円》	
(3) 日本スポーツマスターズ2017 (兵庫大会)	《200万円》	
(4) 総合型地域スポーツクラブ育成・活動推進	《500万円》	
(5) 「体育の日」中央記念行事	《100万円》	
(6) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2018 (広島県)	《300万円》	
6. NPO法人 日本ティーボール協会	(100万円)	
7. (一財) 世界少年野球推進財団	(100万円)	
8. (公財) 日本障がい者スポーツ協会	(100万円)	
9. (公財) 日本スポーツクラブ協会	(150万円)	
10. (公財) 日本スポーツ仲裁機構	(150万円)	
11. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(50万円)	
12. (公財) 健康・体力づくり事業財団	(50万円)	
13. (一社) 全日本ノルディック・ウォーク連盟	(100万円)	
14. (公財) 日本体育施設協会	(50万円)	
II. 地域スポーツの普及振興に対する助成		200万円
1. (公社) 全国スポーツ推進委員連合	(100万円)	
2. (公財) ベルマーク教育助成財団	(100万円)	
III. 学校・社会体育の振興に対する助成		450万円
1. (公財) 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団	(100万円)	
2. (公財) 全国高等学校体育連盟	(100万円)	
3. (公社) 日本女子体育連盟	(100万円)	
4. (公財) 日本中学校体育連盟	(100万円)	
5. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(50万円)	
IV. 選手強化及び競技力向上に対する助成		2,700万円
1. (公社) 全日本アーチェリー連盟	(100万円)	
2. (一財) 全日本野球協会	(200万円)	
3. (公財) 全日本柔道連盟	(50万円)	
4. (公財) 全日本大学野球連盟	(150万円)	
5. (一社) 日本ボクシング連盟	(100万円)	
6. (公財) 日本学生野球協会	(100万円)	
7. (公財) 日本高等学校野球連盟	(100万円)	
8. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
9. (公財) 日本体操協会	(100万円)	
10. (公財) 日本スケート連盟	(100万円)	
11. (公財) 日本ソフトボール協会	(100万円)	
12. (公財) 日本卓球協会	(100万円)	
13. (一社) 全日本テコンドー協会	(50万円)	
14. (公社) 日本トライアスロン連合	(100万円)	

15. (公社) 日本馬術連盟	(100万円)	
16. (公財) 日本バスケットボール協会	(100万円)	
17. (公財) 日本バレーボール協会	(100万円)	
18. (公財) 日本ハンドボール協会	(100万円)	
19. (公社) 日本ホッケー協会	(100万円)	
20. (公財) 日本野球連盟	(100万円)	
21. (公社) 日本近代五種協会	(100万円)	
22. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(50万円)	
23. (公社) 日本ウエイトリフティング協会	(100万円)	
24. (一社) 日本クレール射撃協会	(50万円)	
25. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(50万円)	
26. (公財) 日本アンチ・ドーピング機構	(100万円)	
27. (公財) 日本バドミントン協会	(100万円)	
<b>V. ジュニア育成に対する助成</b>		<b>1,950万円</b>
1. NPO法人 柔道教育ソリダリティー	(100万円)	
2. (公財) 日本ソフトテニス連盟	(100万円)	
3. (公財) 日本ゴルフ協会	(200万円)	
4. (公財) 日本ラグビーフットボール協会	(100万円)	
5. (公財) 全日本空手道連盟	(150万円)	
6. (公財) 日本テニス協会	(100万円)	
7. (公財) 全日本軟式野球連盟	(100万円)	
8. (公社) 日本ライフル射撃協会	(100万円)	
9. (公財) 日本レスリング協会	(200万円)	
10. (一社) 日本バイアスロン連盟	(100万円)	
11. (公財) 全日本スキー連盟	(200万円)	
12. NPO法人 ソフトボール・ドリーム	(50万円)	
13. (一財) 日本ドッジボール協会	(50万円)	
14. (公財) 日本サッカー協会	(200万円)	
15. (公社) 日本スカッシュ協会	(100万円)	
16. (一社) 日本クレール射撃協会	(50万円)	
17. (公財) 日本アイスホッケー連盟	(50万円)	
<b>VI. 国内開催世界選手権大会等への助成</b>		<b>700万円</b>
1. FISジャンプワールドカップレディース2018札幌大会	(100万円)	
2. FISスキージャンプワールドカップレディース2018蔵王大会	(100万円)	
3. スズキワールドカップ2017第28回世界エアロビック選手権大会 (東京都大田区)	(100万円)	
4. 2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会	(100万円)	
5. ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会 (名古屋市)	(200万円)	
6. 2017世界ジュニアウエイトリフティング選手権大会 (東京都大田区)	(100万円)	
<b>VII. オリンピックムーブメント昂揚に対する助成</b>		<b>4,141.72万円</b>
1. 国際オリンピック委員会	《\$4万》	(441.72万円)
2. NPO法人 日本オリンピックズ協会		(100万円)
3. NPO法人 日本オリンピック・アカデミー		(100万円)
4. (公財) 日本オリンピック委員会		(3,500万円)
(1) 第23回オリンピック冬季競技大会への選手団 派遣	《800万円》	
(2) 第23回オリンピック競技大会(平昌) ジャパン ハウス設置	《500万円》	
(3) 第29回ユニバーシアード競技大会 (チャイニーズ・タイペイ) への選手団派遣	《300万円》	
(4) 東日本大震災復興支援活動	《500万円》	
(5) 2020年東京オリンピック・パラリンピック 啓発活動	《1,200万円》	
(6) OCAアスリート委員会活動支援	《200万円》	

VIII. スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成		1,799.78万円
1. (独法) 日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター	(100万円)	
2. (公財) 日本水泳連盟	(200万円)	
3. (公財) 日本陸上競技連盟	(200万円)	
4. (公社) 日本ボート協会	(100万円)	
5. (公社) 日本ウエイトリフティング協会	(50万円)	
6. (公財) 全日本柔道連盟	(50万円)	
7. International Academy of Sportology (国際スポーツロジ学会)	(100万円)	
8. スポーツ学等研究助成 (10件)	(999.78万円)	
(1) 筋疲労はstretch-shortening cycle による筋力増強効果を減弱させるか? —筋疲労状態におけるタイチンの弾性の意義— (立命館大学総合科学技術研究機構 プロジェクト研究員 福谷充輝氏)		《100万円》
(2) サルコペニア、特に脂肪の蓄積部位と運動量の関係 (公財)朝日生命成人病研究所 特別研究員 崎谷康佑氏)		《100万円》
(3) スポーツ外傷・障害の改善を目的とした脳情報の可視化システムの開発 (京都橘大学健康科学部理学療法学科 助教 中野英樹氏)		《100万円》
(4) 短期間暑熱馴化中におけるアイスラリー摂取が生体負担度および 持久的運動能力に及ぼす影響 (国立スポーツ科学センター運動生理学、環境生理学 契約研究員 内藤貴司氏)		《100万円》
(5) 最大酸素摂取量と無酸素パワーの同時改善法の開発に向けた研究 (順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科運動生理学専攻 助教 尾崎隼朗氏)		《100万円》
(6) 野球投手における主観的努力度とボールの運動特性の関係 (関西大学先端科学技術推進機構 特別任命助教 蔭山雅洋氏)		《99.78万円》
(7) プレセット局面中の脳内状態とドロップジャンプパフォーマンスの 縦断的な調査 (筑波大学体育系 特任助教 吉田拓矢氏)		《100万円》
(8) 膝蓋腱炎発生メカニズムの生体力学的検証—膝蓋骨下極と膝蓋骨下極と 膝蓋腱の形態 (新潟医療福祉大学理学療法学科 准教授 江玉睦明氏)		《100万円》
(9) 複合性局所疼痛症候群1 (CRPS1) モデルに対するクライオセラピーの効果 —オミックス解析を用いた検証— (筑波大学スポーツ医学専攻 大学院総合科学研究科 技術職員 菅澤威仁氏)		《100万円》
(10) 痩せた女性やスポーツ選手の骨密度と運動習慣・食生活との関連 (順天堂大学大学院医学研究科代謝内分泌内科学 博士課程 鈴木瑠璃子氏)		《100万円》

IX. 自主事業

1. ミズノスポーツメントール賞、同ライター賞		1,050万円
-------------------------	--	---------

合 計		17,391.5万円
-----	--	------------